

■杉田玄端　　蘭方医，洋学者。近世から近代への科学啓発先覚者。

すぎたげんずい

水野忠成老中1818＝　　生。尾張藩医幡頭信理の子。

日本外史・・1827＝ 9歳：

高島砲術・・1834＝16歳：_杉田立卿に入門し，蘭語・蘭方医学を修めたが，

・・・・・1836＝18歳：

大塩平八郎乱1837＝19歳：

適塾ホヰン・1838＝20歳：_杉田成卿の弟として，立卿の養子となり，玄端と名乗る。

阿部正弘首座1845＝27歳：_分家し，四谷塩町で開業。

孝明天皇・・1846＝28歳：_嗣のない杉田白伯玄(杉田玄白の孫)の要請を受け，跡を継ぎ，

尊徳報徳論・1851＝33歳：*世界地理を啓蒙すべく，訳述「地学正宗」の刊行を開始，

ペリー来航・1853＝35歳：_小浜藩医となる。

開国開港・・1854＝36歳：

松下村塾・・1856＝38歳：_「地学正宗」完結。

五ヶ国条約・1858＝40歳：_蕃書調所出役を命ぜられ，教授手伝から

桜田門外変・1860＝42歳：_洋書調所教授職へ進み，

生麦事件・・1862＝44歳：養父の隠居に伴い，家督を継ぐ。

8月18日政変 1863＝45歳：外国方横文字御用に転出，

薩摩藩士密航1865＝47歳：*外国奉行支配翻訳御用頭取となって，英語・ドイツ語も学習した。

大政奉還・・1867＝49歳：訳書「健全学」，

明治維新・・1868＝50歳：_幕臣として静岡へ移住，沼津兵学校創設に参画，附属陸軍医学所頭取となる。

学問のすすめ1872＝54歳：*米書から訳した「化学要論」。同校の東京移転後，沼津で私立病院を開き，東京に出張所を置く。

明治6年政変 1873＝55歳：

初の民間工場1875＝57歳：東京神田佐柄木町に出てきて，

三つの内乱・1876＝58歳：_同志と共立病院を興す。

・・・・・1880＝62歳：学士会院会員に推挙される。

明治14年政変1881＝63歳：

帝国憲法発布1889＝71歳：麻布永坂町の自宅で，_没した。

「民間内外科要法」「解剖生理略論」などの医書のほか，ドイツ人から学んで写真術に挑み「写像新法」の訳著もある。